

# 女子は高木、男子は山本良介が優勝

## 2007ITUコンチネンタルカップ蒲郡大会速報

### 女子は、2位崎本、3位田中でメダル独占

6月24日(日)、愛知県蒲郡市の蒲郡競艇場特設コースで、2007NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦・2007ITUトライアスロンコンチネンタルカップ蒲郡大会が開催された。

午後12時スタートの女子は、時折雨が激しくなるなかはじまった。水温は25度でウエットスーツは着用禁止。

スイムで先行したのは中島千恵(トーン・日東紅茶・TEAM KEN 'S)。すぐ後ろを浅沼美鈴(愛知県協会)が追う。その14秒後には田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)、と崎本智子(日本食研)が続いた。

バイクに入ると田中が一人で逃げ始めたが、雨脚が強まった3周目、ヘアピンカーブで落車してしまう。このとき田中はすぐに起き上がってレースに復帰した。しかし同周、大松沙央里(トヨタ車体)が同じ場所で落車。大松はその後に調子を落としてリタイアしてしまった。

田中が逃げるなか、後続の崎本、高木美里(湘南ベルマーレ)、中島、浅沼、西麻依子(埼玉県連合)、太田麻衣子(千葉県連合)の6名が後を追う。特にスイムで出遅れた高木は、ほとんどを先頭に立って集団を引っ張った。

約1分の差をつけてランに入った田中だが、1周目で高木、崎本に追いつかれ、併走を許す。そして3周目に高木が前に出ると崎本はついたものの田中は下がってしまった。

その結果、高木が2時間1分27秒で優勝。2位には崎本が入り、3位は田中となり、日本選手でメダルを独占した。



高木(左から)、田中、崎本の競り合いは続いた

高木 美里  
(湘南ベルマーレ)



レースの朝まで体調が悪く、出るか迷った。スイムの練習ができなかったので、スイムは大きく遅れた。バイクでは、テクニカルなカーブのコースは立ち上がりが必要で、若手の前に出て積極的に走った。それでも、ワールドカップで慣れていたので、ランにつながった。

崎本 智子  
(日本食研)



昨年からの故障とケガが続いて、体調が万全のときがなかった。今年、チームが変わって、ランの練習を強化している。スイム、バイク、ランとも、競り合ってレースできたことがいい経験になった。今年は、多くのレースに出るのではなく、コーチと相談しながら戦いたい。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



# 女子は高木、男子は山本良介が優勝

## 2007ITUコンチネンタルカップ蒲郡大会速報

午後1時55分にスタートした男子は、スイムで1列棒状の展開となるなか、山本良介(トヨタ車体)がトップフィニッシュ。スイムの得意な平野司(NTT東日本・NTT西日本)は2番手。ガレス・ハルバーソンとダン・ロビンソンのオーストラリア勢が続いて、そのうしろに山本淳一(K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター)がつく。

バイクでは、山本良介と細田雄一(ウイダー)が積極的に逃げ始めたが、3周目を終えたところで細田がフェンスと接触して転倒、順位を下げたが、第2集団に踏みとどまった。山本良介は、一人になりながらも逃げ続け、ランへのトランジションに飛び込んだときには、後続に対して1分25秒のアドバンテージを得ていた。

ランでは、快調に山本良介が逃げ続ける。しかし、1周を終わったところでその差は1分に縮まった。興味は、山本良介が逃げ切れるのか、またいつ捕まるかに集中したが、3周目を終えた時点で約40秒差。最後の直線に最初に姿を見せたのは、山本良介だった。

優勝は、1時間48分40秒で山本良介。2位にはハルバーソン、3位はアダム・カールトン(オーストラリア)が入った。

ハルバーソンは、「バイクがテクニカルで、うまく前を追えなかった。優勝の山本をアダムと二人で追ったが、逃げ切られてしまった」と悔しそうだった。

4位には落車しながらも粘り強く復帰した細田が入った。

なお、このレースの様子はフォトギャラリーでご覧になれます。



山本良介(左)と細田は逃げたのだが

### 田中 敬子

(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)



バイクでの落車は惜しかったが、バイクそのものにダメージがなかったので、すぐに走り出せた。ランで追いつかれてしまったが、いまの実力では3位が妥当かもしれない。目標は、世界選手権のU-23の代表になることだったので、実現できて嬉しい。

### 山本 良介

(トヨタ車体)



バイクで細田が落車したのが惜しかった。一緒だったら、2分以上の差が得られたのではないかな。バイク前半は抑えて、後半に差を広げた。1分25秒のアドバンテージだったが、1分45秒はほしかった。その分、ランがきつくなってしまう。トヨタ車体が2連覇できてよかった。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

